

CEATEC JAPAN 2018

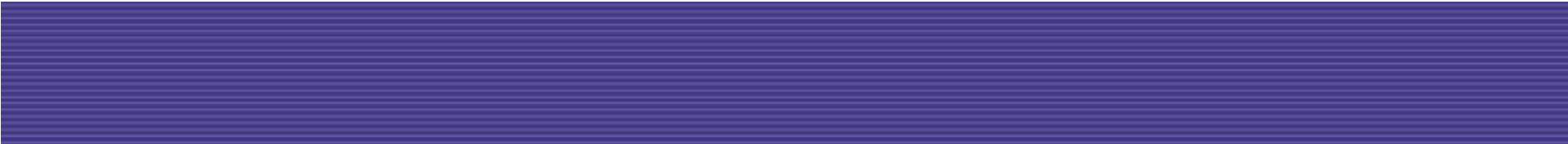
攻めへ転じるIT投資

1. ソリューションサービスの市場規模トレンド
2. 攻めのIT経営に関する調査結果(2017年)
3. (トピックス)米国 先進事例調査視察より

2018年10月18日

ソリューションサービス事業委員会 副委員長

込宮 信治 (沖電気工業株式会社)

- 
1. ソリューションサービスの市場規模トレンド
 2. 攻めのIT経営に関する調査結果(2017年)
 3. (トピックス)米国 先進事例調査視察より

電子情報産業の世界生産見通し(赤本)

JEITA会長が発表する翌年の見通し ～JEITAの大きな森の方向性を示す羅針盤～

電子情報産業の全品目について

- 金額規模でのマッピング・トピックス整理
- 翌年の見通し・方向性提示

各分野や製品を金額規模で比較する。

世界の中での日系企業の位置づけ把握。

世界生産、日系企業生産、国内生産の3要素で、
方向性を示す。



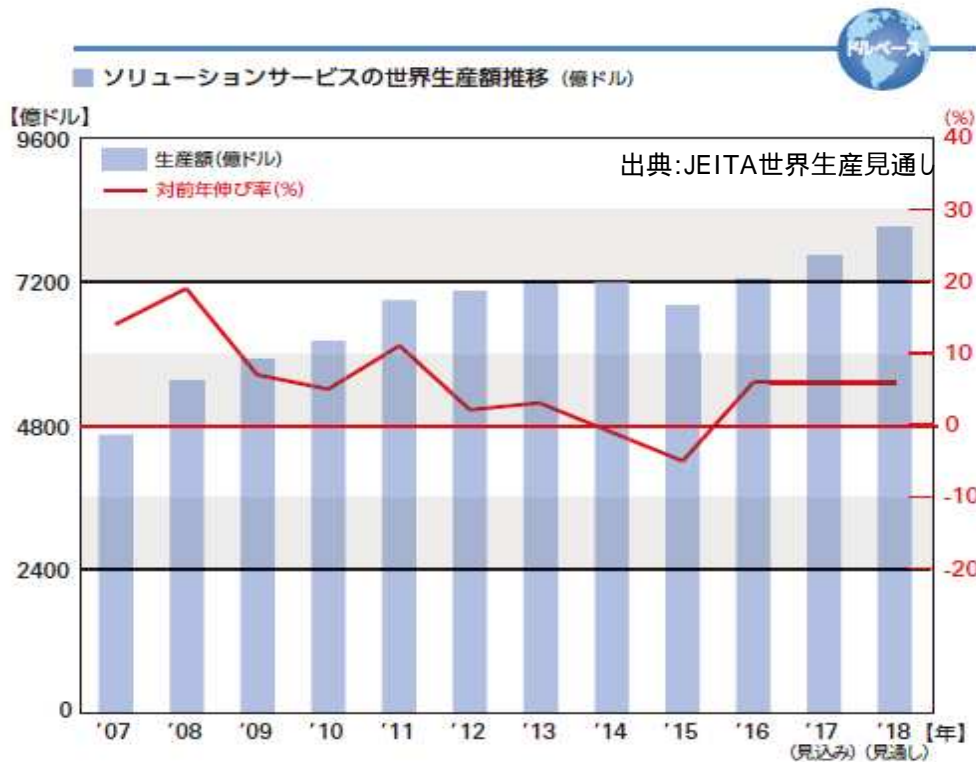
最新刊は毎年12月に発行

電子情報産業の一品目としてソリューションサービスの世界生産見通しを調査・発表

JEITAホームページより、赤本総論概要をダウンロード可能。(毎年12月に更新)

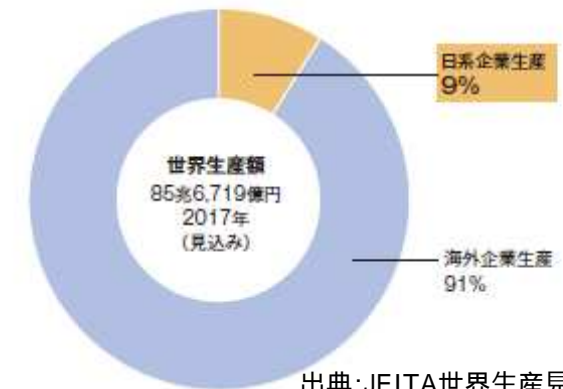
<https://www.jeita.or.jp/japanese/topics/2017/1219.pdf>

電子情報産業の世界生産見通し・ソリューションサービス

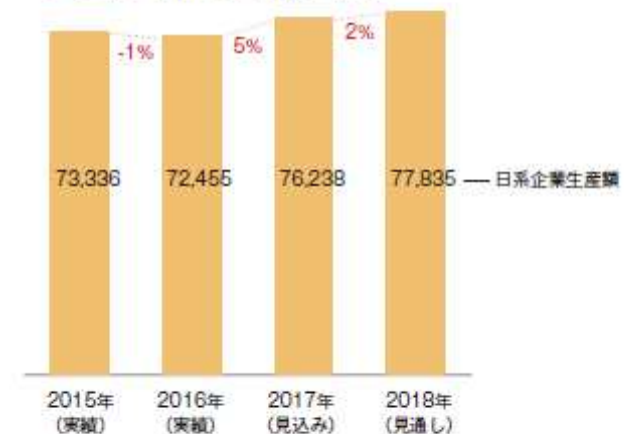


2017年、2018年共に過去最高更新
利活用分野の課題解決のための差別化ツール

■ 日系企業シェア



■ 日系企業の生産額推移 (億円)



世界生産額：

2017年
7,642億ドル
(前年比 9%増)

2018年
8,116億ドル
(前年比 6%増)

DX時代の到来は、従来のビジネスのあり方を塗り替えつつある。

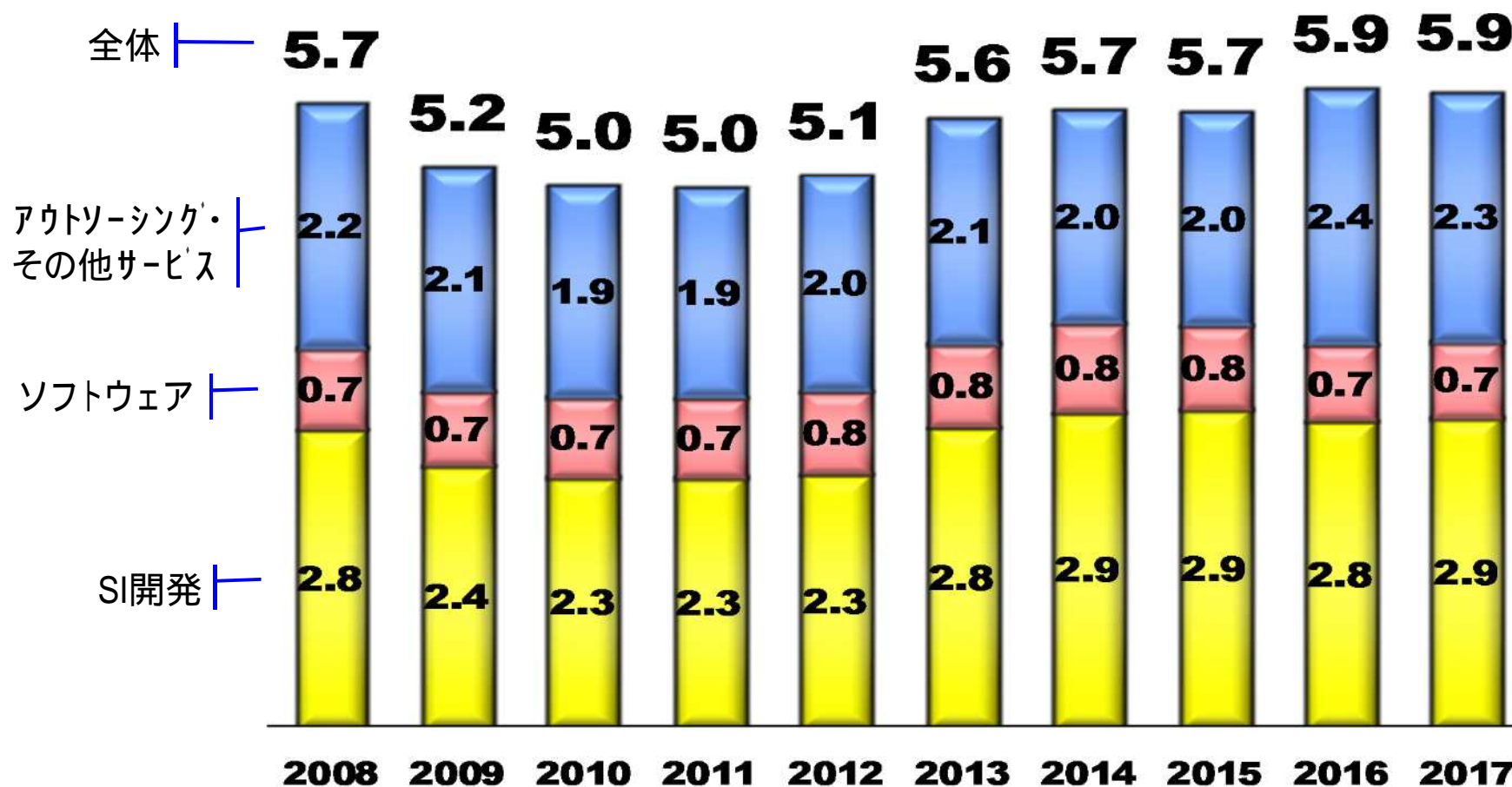
- ・新興国での通信インフラ整備
- ・人手不足や働き方改革でのIT活用
- ・オリパラに向けたインフラ整備、セキュリティ対応

等の背景により、堅調な**プラス成長**を見通した。

種別別 国内市場規模推移(2008～2017)

種別別 ソリューションサービス国内市場規模

(単位:金額=兆円)

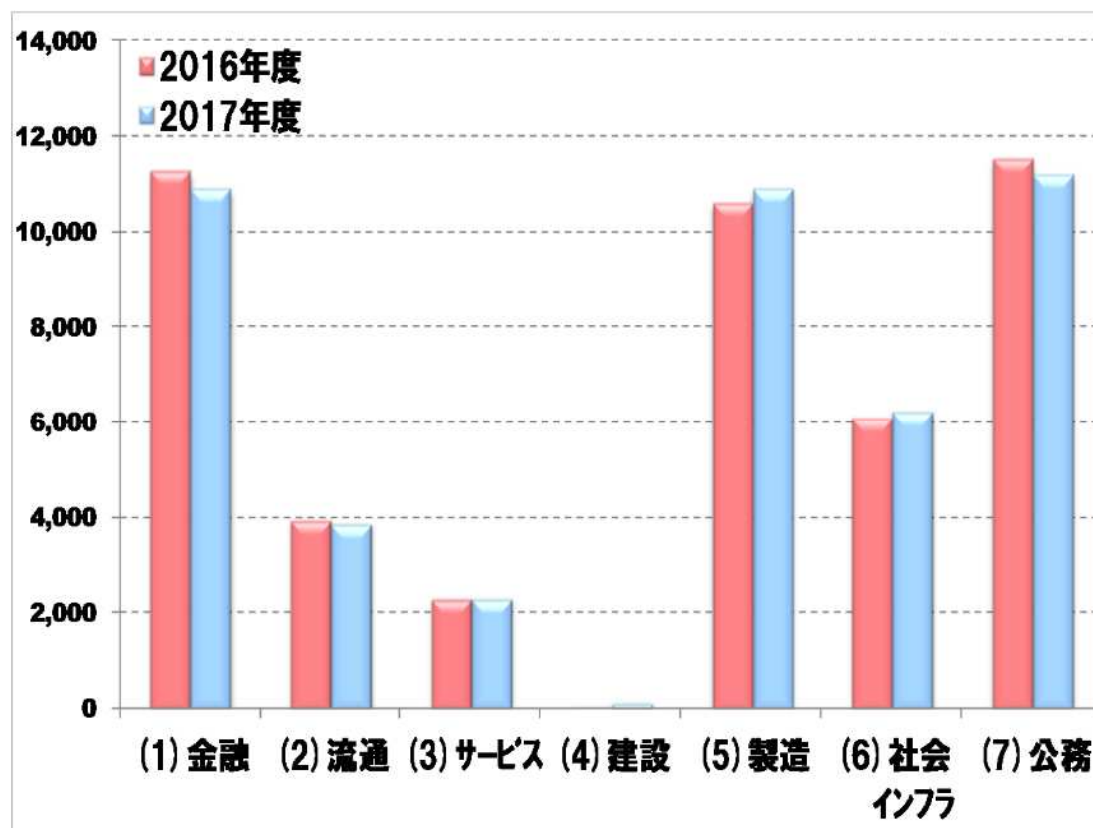


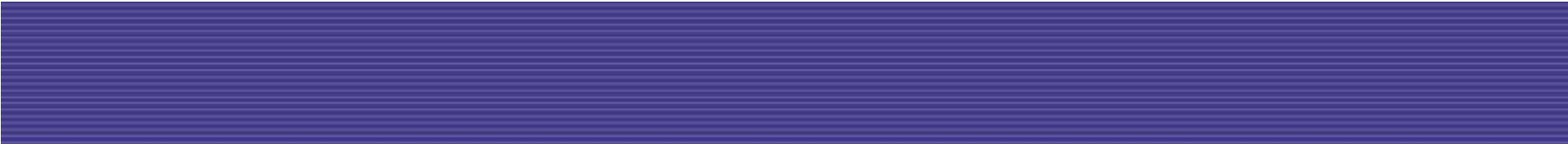
利活用分野別 国内市場規模(2016-2017)

ソリューション市場規模
(利活用分野別) (億円)

利活用分野別	2016年度	2017年度
(1)金融	11,253	10,897
(2)流通	3,962	3,886
(3)サービス	2,350	2,335
うち、医療	1,301	1,340
(4)建設	71	156
(5)製造	10,595	10,893
うち、自動車	745	815
(6)社会インフラ	6,100	6,243
うち、放送・通信	2,153	2,196
うち、交通・運輸	815	953
うち、エネルギー	934	966
(7)公務	11,535	11,190
(8)その他日本向け	13,028	12,947
(9)海外	14,015	14,367
グローバル売上合計	72,909	72,914

ソリューション市場規模
(利活用分野別)



- 
1. ソリューションサービスの市場規模トレンド
 2. 攻めのIT経営に関する調査結果(2017年)
 3. (トピックス)米国 先進事例調査視察より

攻めのIT経営調査について

ソリューションサービス事業委員会では、
「攻めのIT経営」に関する調査を実施してきました。

IT経営の日米比較(2013)

国内企業の攻めのIT投資実態調査(2014)

攻めのIT経営企業におけるIT利用動向関連調査(2015)

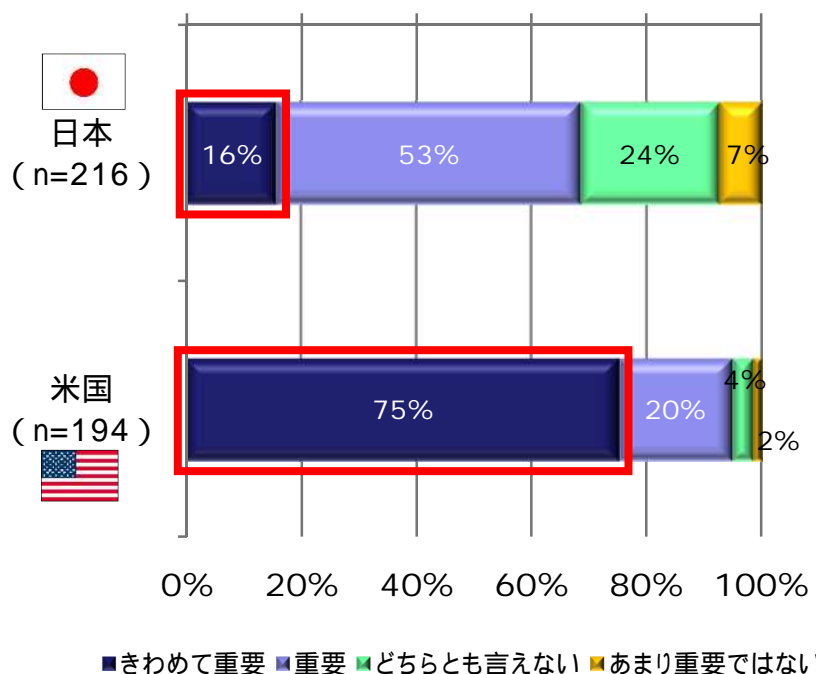
昨年度は、初回調査から4年を経過している事から、
最新の国内企業のIT経営状況を把握すべく、

『2017年国内企業の「IT経営」に関する調査』を
実施しましたので、その調査結果をご紹介します。

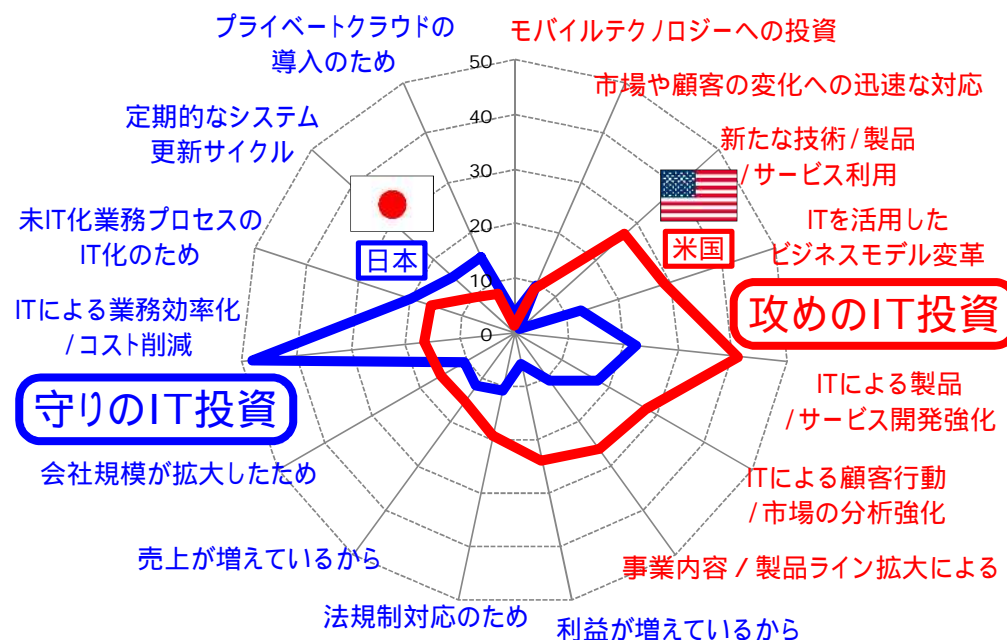
日米でこんなに違うIT投資状況

・日米でIT利用者の期待や評価、攻めのIT投資状況を調査(2013)
IT部門以外のマネージャー職対象にアンケート実施

企業におけるIT投資の重要性



IT投資予算増額の用途



2013年の調査では、日米の経営者及び事業責任者のIT経営に対する意識や考え方の違いが鮮明に浮かび上がった。

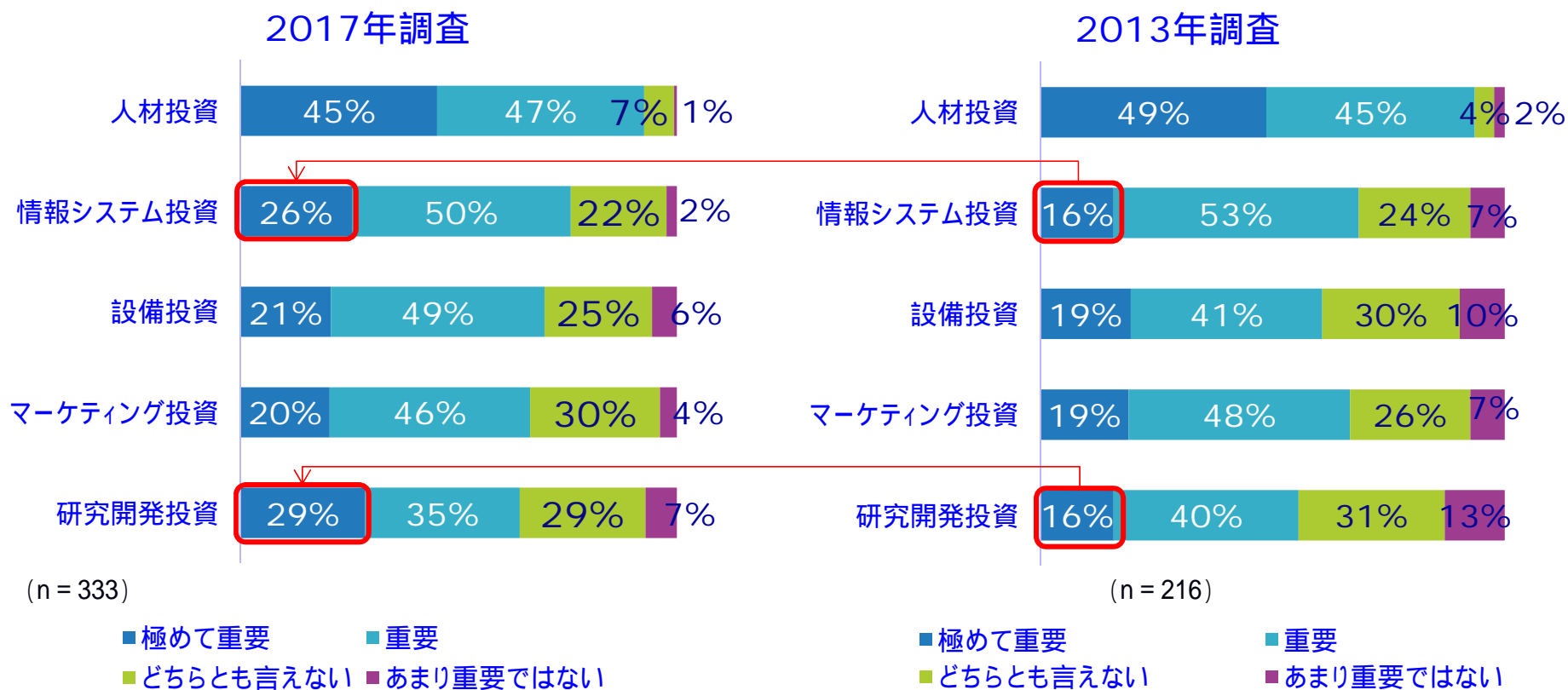
2017年国内企業の「IT経営」に関する調査

- 2013年に実施した「IT経営に対する日米企業の相違分析」調査のアップデートを行なう。(今回は、日本企業のみ調査)
 - 2013年調査との比較のため、設問は2013年と同様にする。加えて、AIやIoTなど新たなテクノロジー/ソリューション利活用や働き方改革についても調査を行なう。
-
- 調査方法： **国内の民間企業**に、ITに対する意識調査を実施
 - 調査時期：2017年9月
 - 企業規模：従業員数が300人以上の国内企業
 - 産業分野：政府/自治体,教育,福祉,情報サービスを除く全業種
 - 回答者：経営者,及び**IT部門以外**(事業部,営業,マーケティング,経営企画)のマネージャー職以上
 - 調査形式：Webアンケート形式(333社からの回答)

日本における投資状況の変化

IT(情報システム)投資への重要度が高まっている。更に、研究開発投資も上昇傾向にあり、技術への意識が強くなっている。

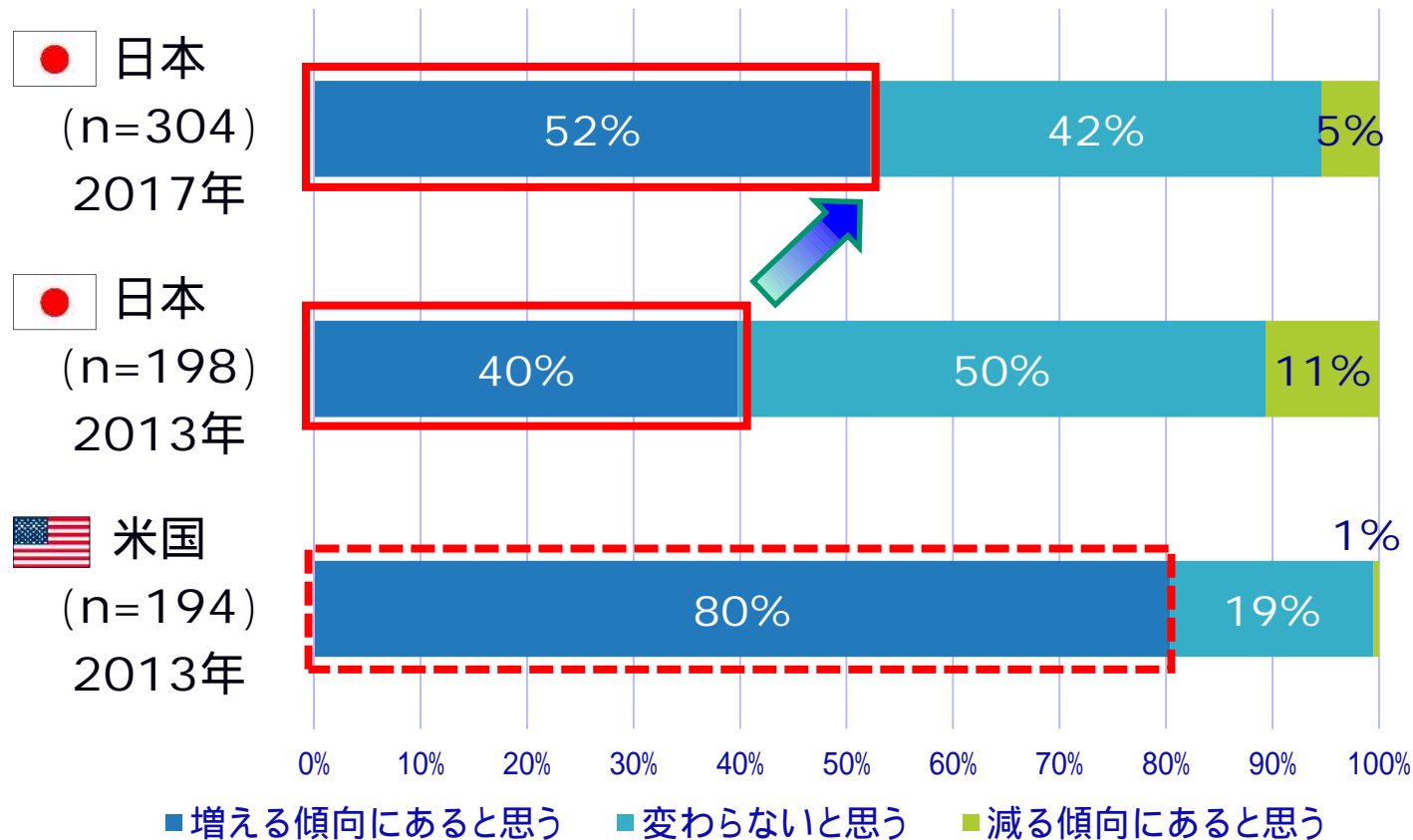
問: 貴社では、競争に勝ち残るために、どういった投資を重視していますか。4段階でお答えください。



IT予算の増減見通し

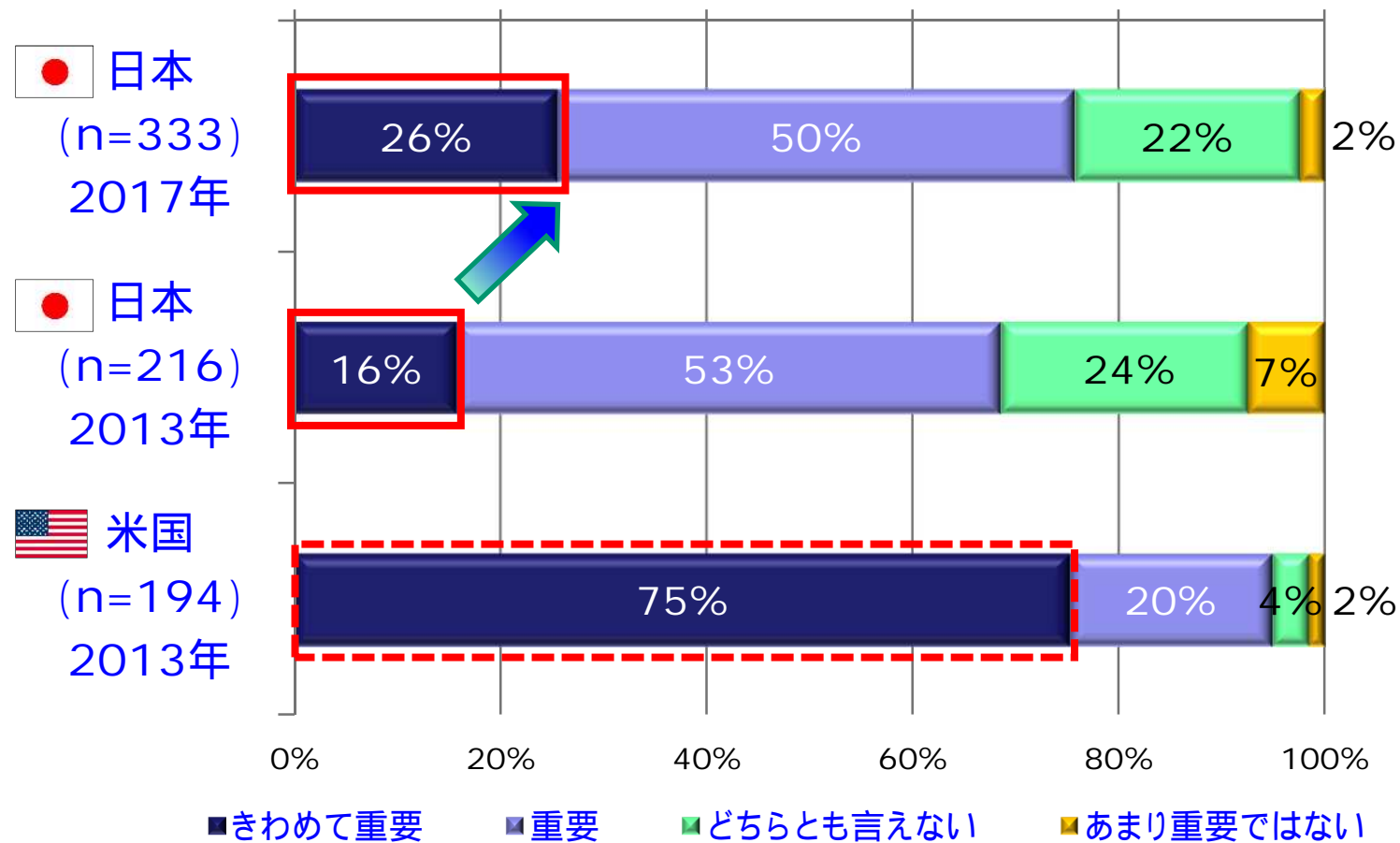
「IT予算が増える傾向」と考える日本企業は、2013年の40%から12ポイントアップの52%となった

問: 貴社全体でのIT予算は、増える傾向にありますか。減る傾向にありますか。



企業におけるIT投資への意識

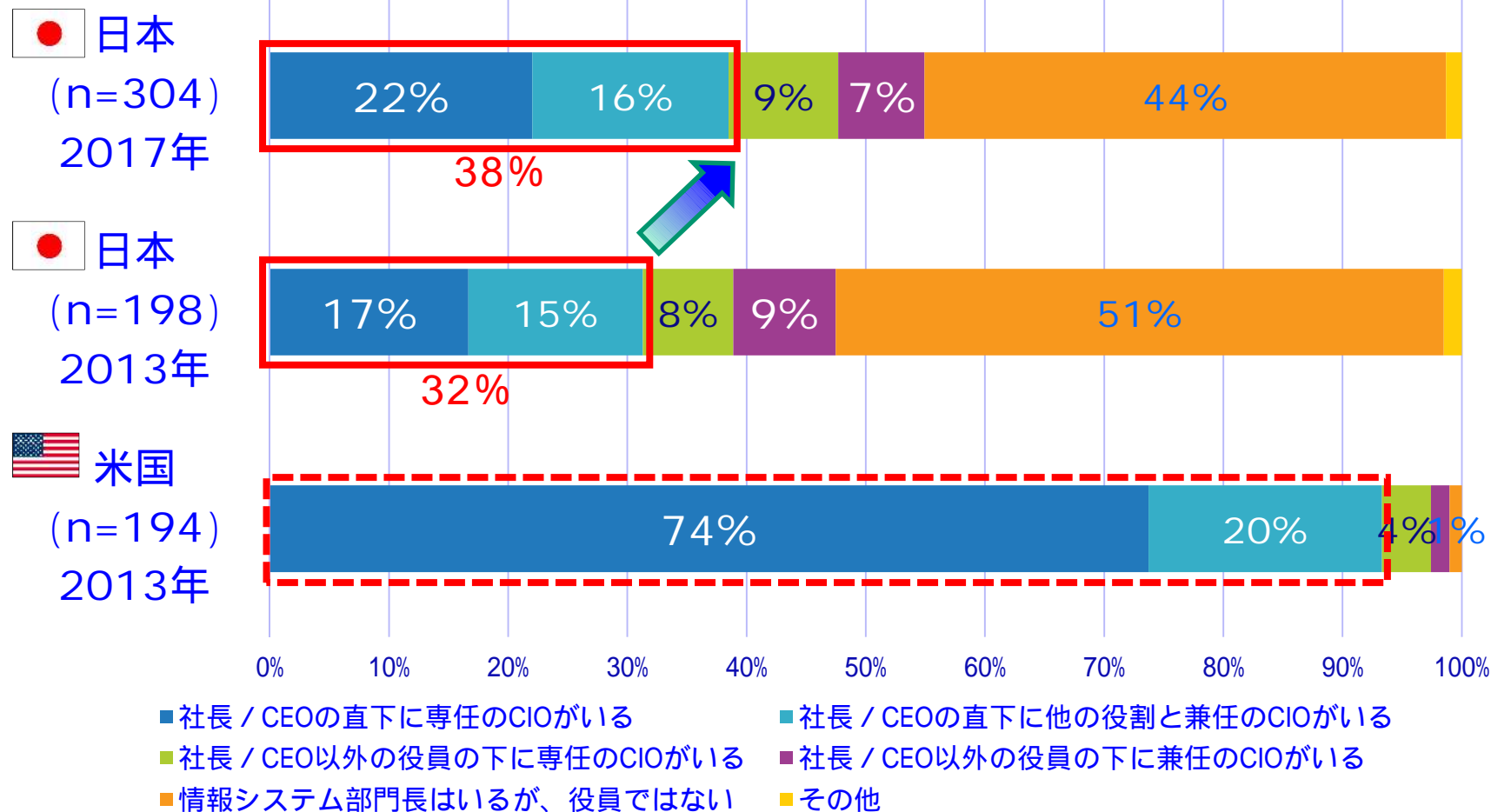
「IT投資がきわめて重要」と考える日本企業は、2013年の調査に比べ1.6倍に増加した



CIOの設置状況

大幅とは言えないものの、CIOは増加傾向にある

問: 貴社には、情報システム/ITを統括する役員、いわゆるCIOはいますか。最も当てはまるものを1つ選んでください。



IT投資予算増額の用途

「業務効率化 / コスト削減」が相変わらず1位だが、他との差が縮小
 「新規技術利用」や「ビジネスモデル変革」が大きく伸びた

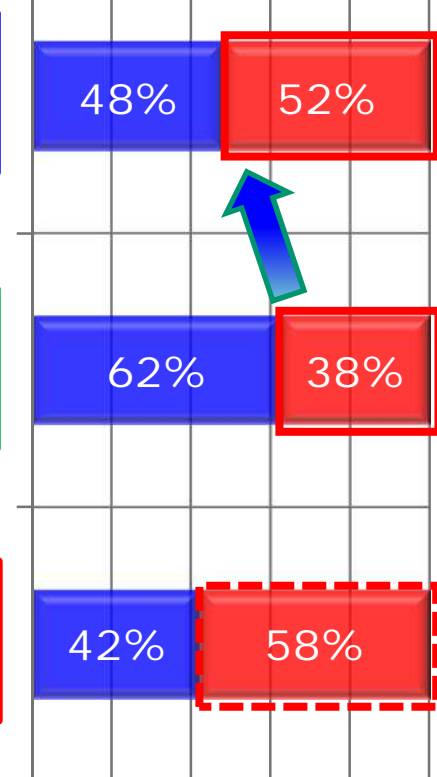
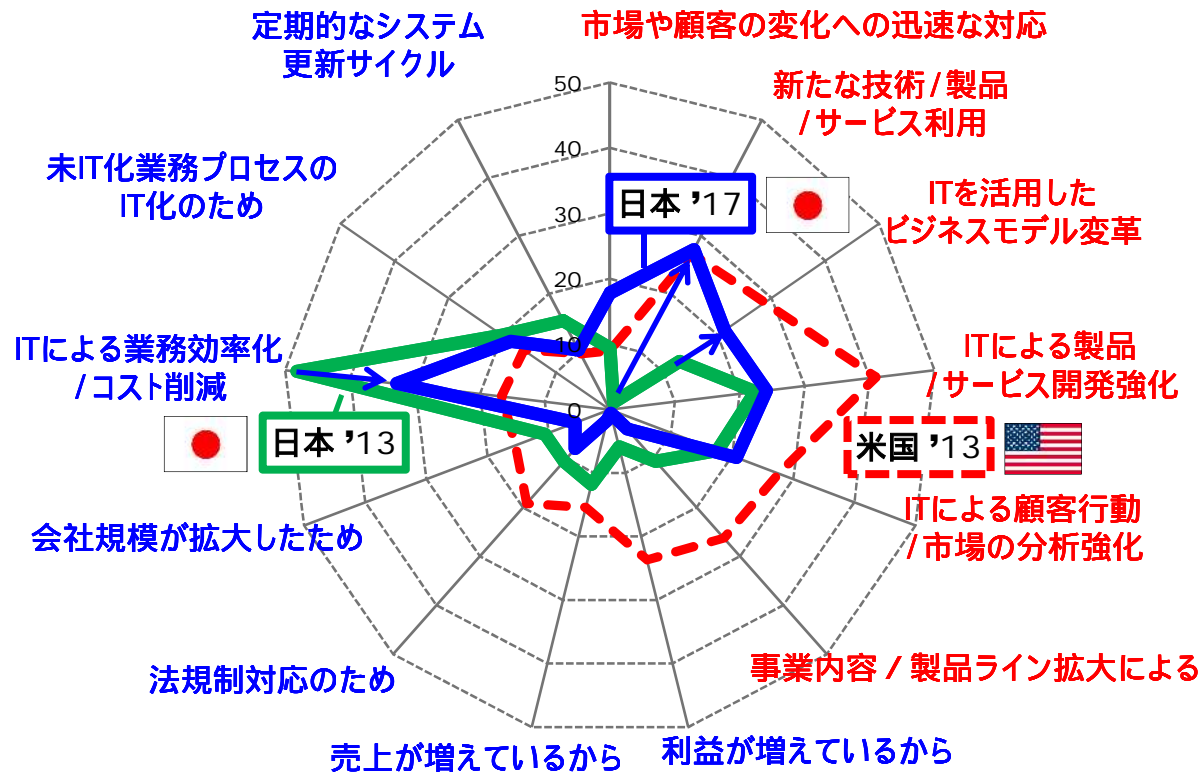
守りのIT投資

攻めのIT投資

守り / 攻め回答比率

守りのIT投資

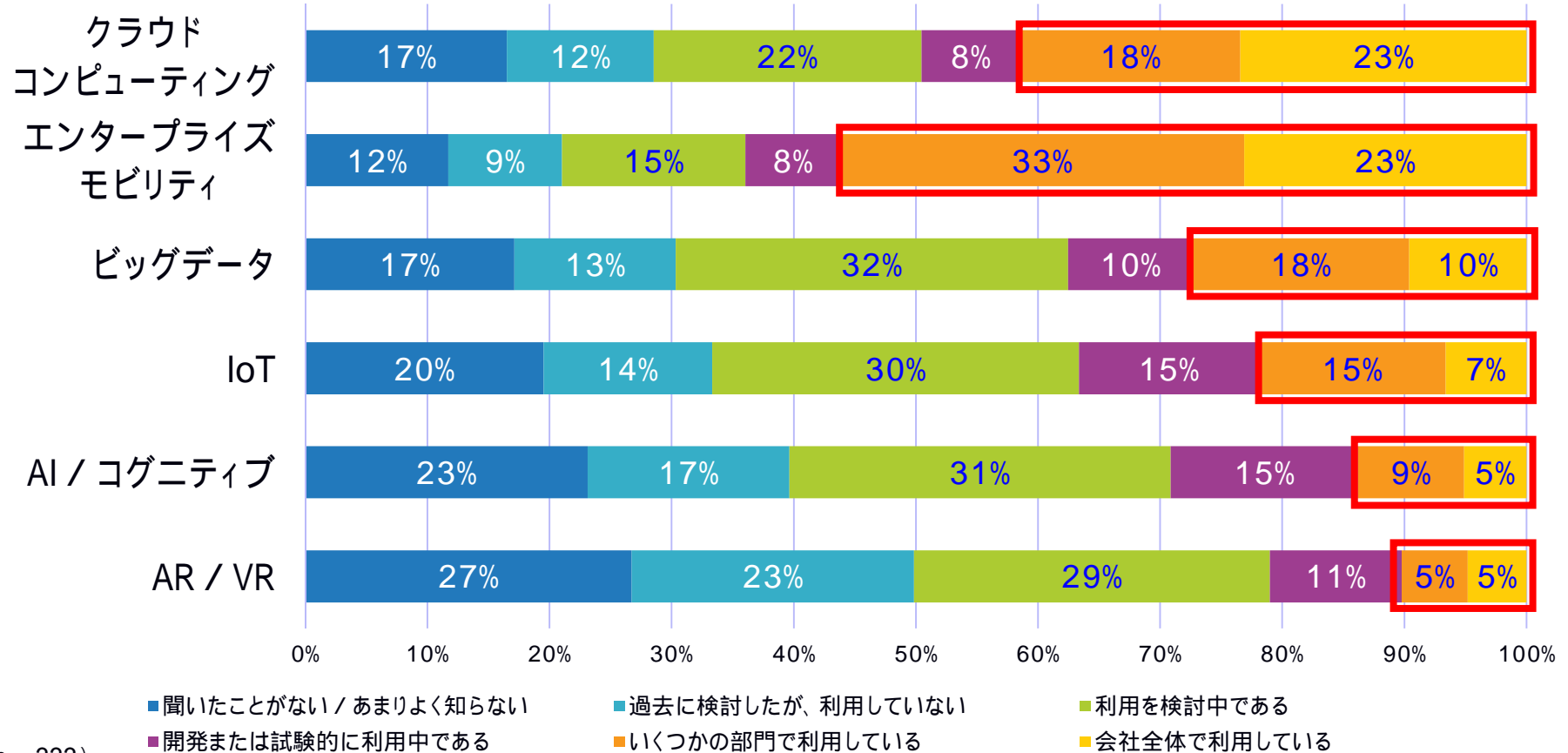
攻めのIT投資



新規技術の導入状況(2017)

クラウド、モビリティの利用率は高い
IoT、AI、AR / VRなど新規技術はこれから

問: 以下の新規IT技術について、貴社および貴部門の状況をお答えください。



(n = 333)

まとめ

多くの指標において、日米の経営者および事業責任者のIT経営に対する意識や考え方にはまだギャップがあるものの、日本企業の「守りのIT投資」から「攻めのIT投資」へシフトの兆しは見られ、今後の効果が期待される。

項目	2013年		2017年
	米国	日本	日本
IT投資 「極めて重要」	約75%	約16%	約27% (’13比11% Up)
IT予算の増減 見通し 「増加」	約80%	約40%	約52% (’13比12% Up)
IT予算が増える 理由	「製品・サービス開発」 「ビジネスモデル変革」 攻めのIT投資が顕著	「業務効率化・コスト削減」 守りのIT投資が顕著	「業務効率化・コスト削減」 が依然トップ。 但し「製品・サービス開発」 などは大きく伸張 攻めのIT投資へ シフトの兆し有

調査結果公表の反響

2014年より経済産業省が東京証券取引所と共同で、経営革新や競争力強化のためにITの積極的活用に取り組んでいる企業を「**攻めのIT経営銘柄**」として毎年選定中

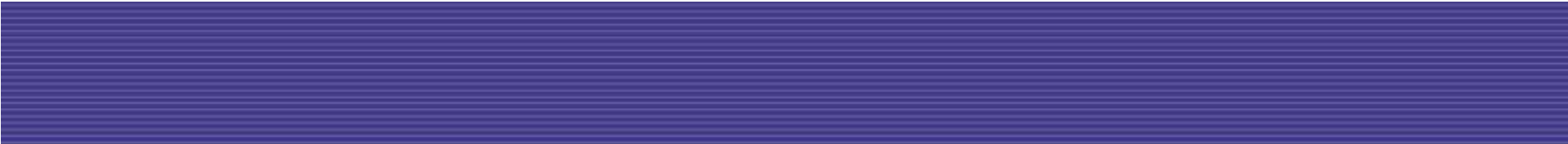
経済産業省HP:「攻めのIT経営銘柄2018」「IT経営注目企業2018」を発表しました(2018年5月30日)
<http://www.meti.go.jp/press/2018/05/20180530004/20180530004.html>



2018年1月16日NHKおはよう日本より

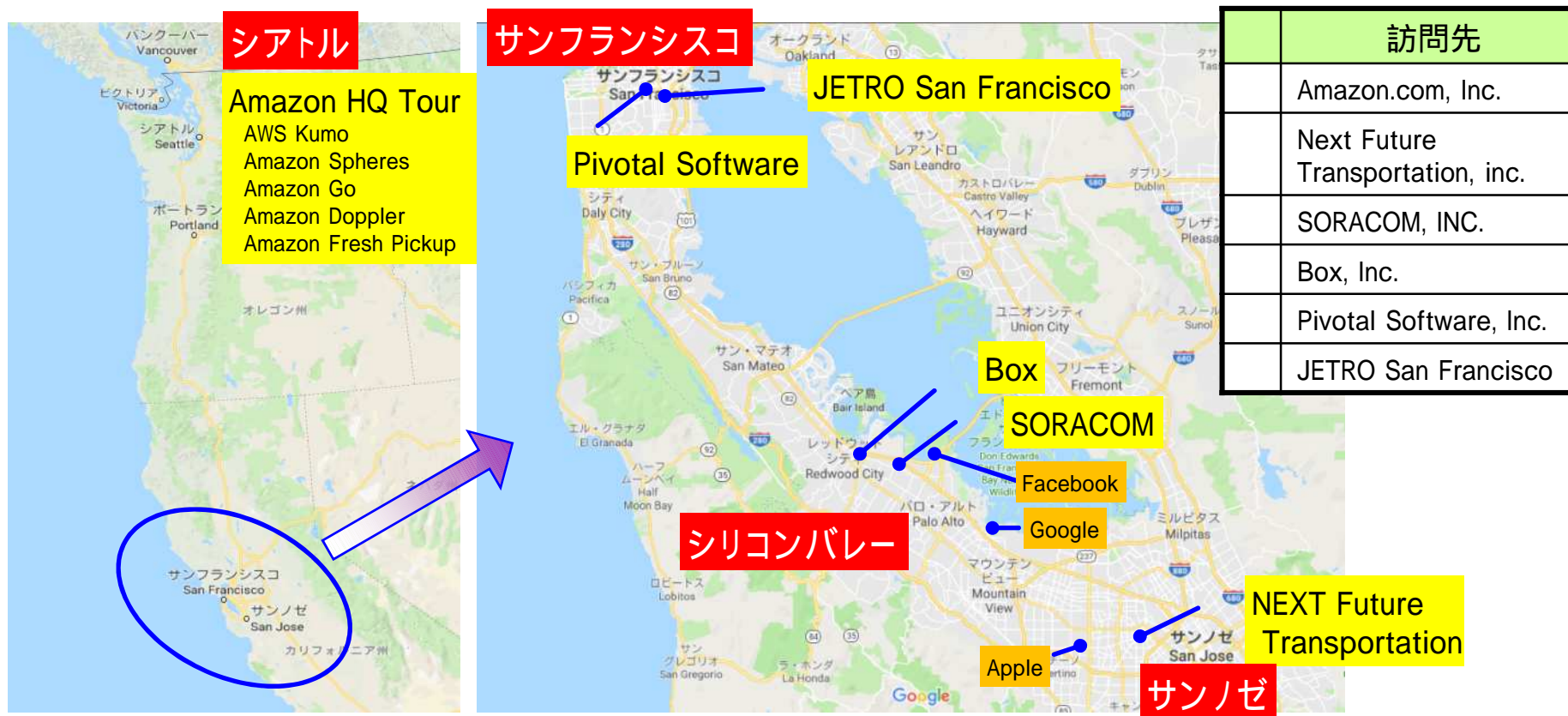
『2017年国内企業の「IT経営」に関する調査』はNHKニュースおはよう日本でも取り上げられ放映された

JEITA HP: JEITA、2017年国内企業の「IT経営」に関する調査結果を発表(2018年1月15日)
<https://www.jeita.or.jp/japanese/exhibit/2018/0116.pdf>

- 
1. ソリューションサービスの市場規模トレンド
 2. 攻めのIT経営に関する調査結果(2017年)
 3. (トピックス)米国 先進事例調査視察より

(トピックス) 米国 先進事例調査視察より

米国における攻めのIT経営企業(DX先進企業)の最新状況を調査すべく、今年10月1日～6日に米国(シアトル～サンノゼ～サンフランシスコ)にて訪問調査を実施



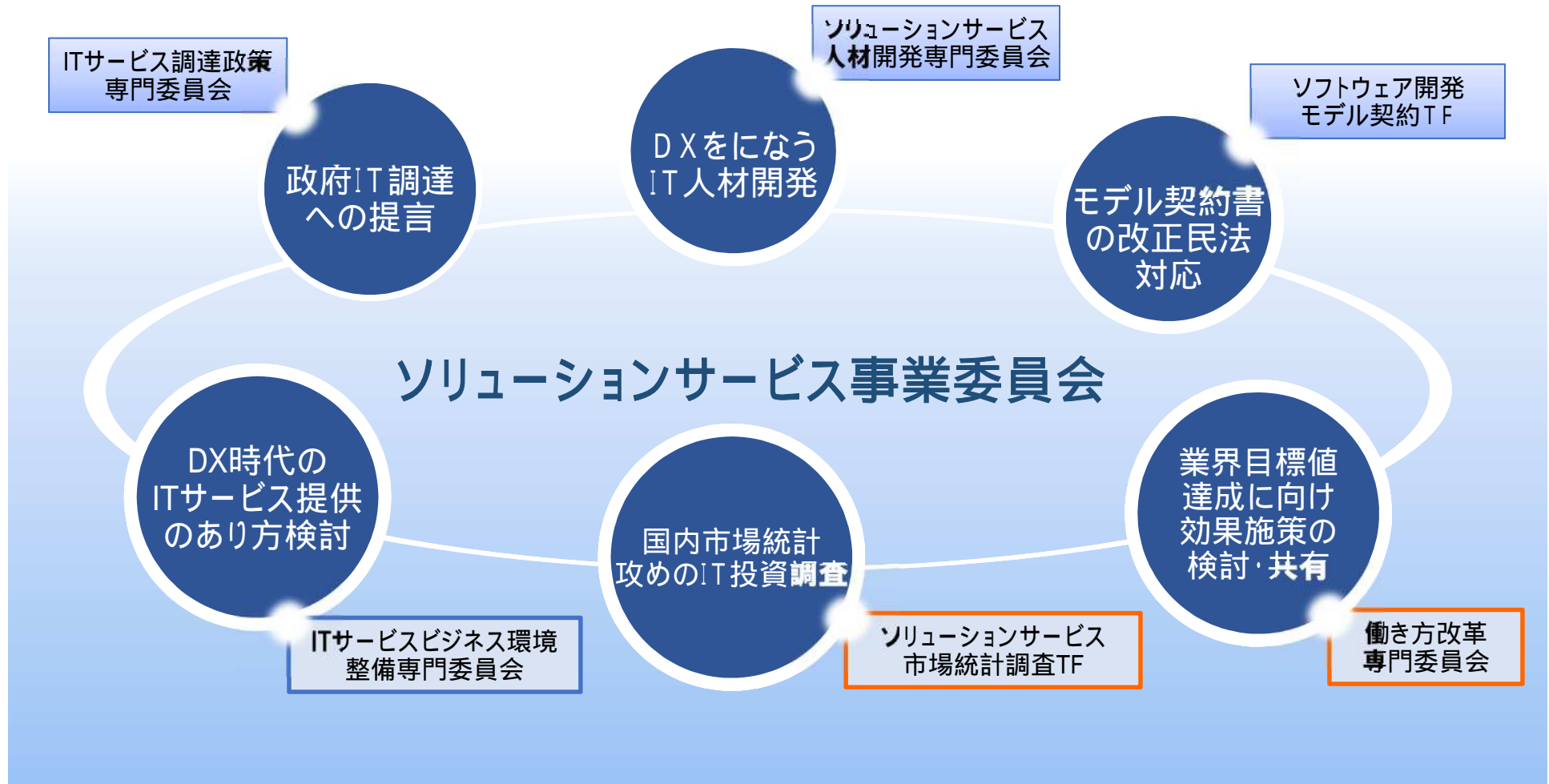
(トピックス) 米国 先進事例調査視察より

IT投資に関して

- ・北米のIT投資額は**2934億ドル**(2017年)、年々増加傾向
- ・ITを活用して新たなビジネスモデルを考えていくのが米国流で、**攻めのIT投資が当たり前**
 - DXは大企業がオープンイノベーションに向かう意味合いの言葉
- ・間接部門は自前で持たずアウトソーシング中心、間接部門への投資は考えていない
 - BOXとPivotalの受付システムは同じサービスを利用
- ・特にこの1年で**ユニコーン企業に達するスピードが速まっている**
 - VC投資も2000年前後のドットコムバブルに次ぐ高水準に
- ・IT人材の**平均年俸は22万ドル**(2018年1月)、転職に対する障壁もなく、逆に転職により年俸がジャンプアップ
 - シリコンバレー大手企業の平均社員滞在年数は2年弱

ソリューションサービス事業委員会の活動

ITシステムの調達・導入・運用の品質・信頼性向上につながる情報を発信



(参考) 北米IT投資トレンド

Spending on information technology (IT) services in North America from 2014 to 2020 (in billion U.S. dollars)

スクリーンをご覧ください

(参考) シリコンバレーのVC投資

バイエリア・シリコンバレーにおけるVC投資額の推移（四半期別）

スクリーンをご覧ください

(参考) 加熱する人材獲得競争、滞在年数は短い

テック大手企業での平均滞在年数

スクリーンをご覧ください